

第三回 孫七瓦 いまむかし

常務のコラム

弊社は1694年（元禄7年）創業。1964年（昭和39年）に株式会社を設立いたしました。法人化当時を振り返ってみますと、斑鳩や王寺、三郷、平群、河合、上牧などの県西部方面で宅地開発がはじまった頃にあたりと思えます。昭和30年代に池田勇人氏が総理大臣になり「今後10年で皆さんの所得を倍にします」と公約し、国民生活はその通り右肩あがりになってきました。高度成長時代の到来です。その結果、自分の家を買う人が増えてきました。特に大阪方面に住んでおられた方々が奈良方面へと家を求める傾向が高かったですね。初めのころは小規模な宅地開発だったのが、数社の大企業が資本を出し合って大きな住宅会社を作り、大規模な宅地開発が進んでいきました。

古くから奈良県では、多額のお金が入るようなことがあれば「先祖代々住んでいる家屋敷にお金を使うと良い」と言われていました。そうすれば御先祖様も叱ることはない。だから『奈良県には立派な家が多いんやな』という話をよく聞いたものです。このような時代の流れで昭和30年代後半くらいから建築業者も増えて来てドンドン家が建つようになつてきました。立派な昔ながらの家と言っても技術を持った職人さんがいなければ建てられません。奈良県には日本建築の象徴とも云える神社・仏閣が古くからたくさんありそれらが教科書となつて技術が伝承されてきたのではないのでしょうか。昭和50年代から60年代頃までは旧来からの日本建築である木造の軸組み工法の建て方が多く、屋根材は粘土瓦がほとんどでした。ところがその頃から、住宅会社が木造住宅ではあるが様々な種類や形の家（建物）を建てるようになり、屋根材、壁材、内装材にも多種多様なものが使われるようになると、屋根工業者も何種類もの材料を扱わねばならず、現在も毎日が新素材の勉強です。

近頃、地球温暖化が話題に上がることが多いですね。日本列島の気候は温帯地域と習ってきたのですが今や亜熱帯地域ではないのかと感じるのは私だけではないように思えます。時には熱帯地域のような大きな土砂降りの雨が降り大きな被害が出るようになってきました。一昔前ですが、住宅メーカーのパンフレットを持参したお客様が「この様な瓦で工事してもらえますか？」と来社された事がありました。よく見ると、雨の少ない（砂漠に近いような）地方に建っている家のように思えたので、この瓦は日本の気候には向かないと思うのですがと理由を説明すると納得された。と言う事がありました。わが国には、昔から伝わる形（型）の瓦（和形又は丁型とも言います）があります。これは中国から朝鮮半島を経由して伝わった瓦を江戸時代の職人さんが考えて工夫して創ったと聞いています。私たちが見ても実によく考えられており、また日本の気候には現時点では最適の瓦だと思つています。

孫七瓦工業株式会社の 経営理念 II 目的理念

私たちは、日本建築の文化の継承と、伝統を活かした技術革新を通じて社会に貢献します。

行動理念

一、私たちは、安全で安心できる快適な住まいのある暮らしを提供します。（科学性）

一、私たちは、社会に信頼される会社となり、地域社会の発展に貢献します。（社会性）

一、私たちは、共に学び、共に育ち、全社員の実績を追求します。（人間性）

この経営理念は孫七瓦工業株式会社が継続的・計画的に社会に役立つ企業としての根本的な価値基準です。

取り上げてほしいテーマや皆様のお屋根にまつわる体験談・お勧めのカフェや奈良のお勧め情報なども随時募集しております。

まごひち瓦版は不定期発行です、バックナンバーは弊社ホームページでご覧いただけます。

かわら版の送付停止をご希望の方は編集部までご連絡下さい。ご連絡と発送が前後した場合は次号より停止させていただきます。

〒636-0143 奈良県生駒郡斑鳩町神南3-13-13 孫七瓦工業株式会社 まごひち瓦版編集部

☎ 0745-74-1218 HP <https://www.magohichi.com>